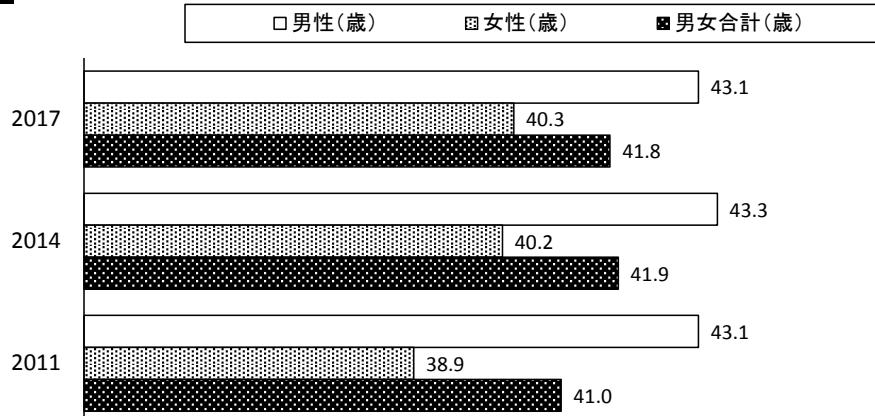


[2 就労実態について]

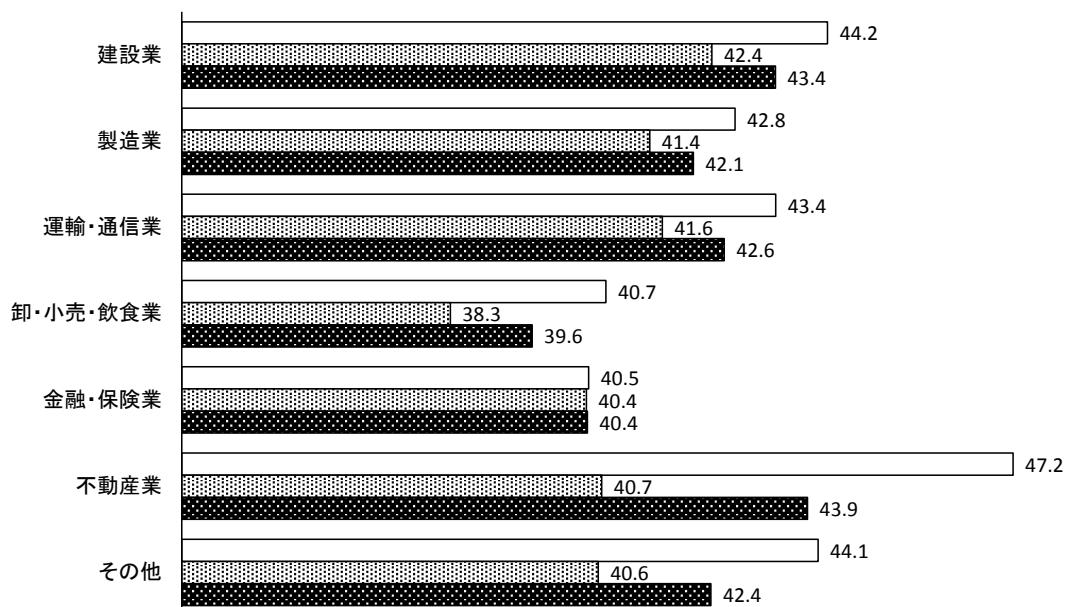
(1) 正規従業員の平均年齢

前回調査と比べ、全体の平均年齢は、男性、女性、男女合計いずれも横ばいとなっている。
業種別では「卸・小売・飲食業」、規模別では、「100人以上の事業所」の平均年齢が若くなっている。

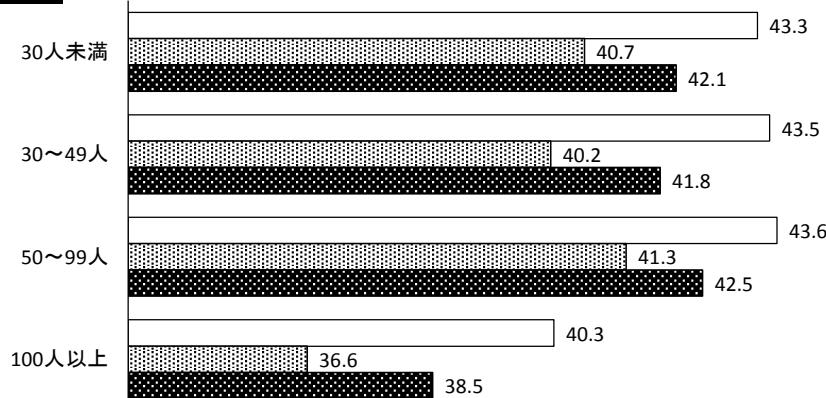
全体



2017業種別



2017規模別



※数値は全回答(数値回答)の平均値

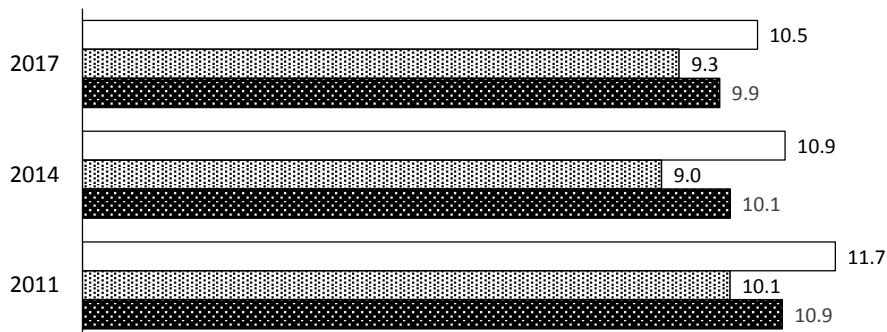
[2] 就労実態について

(2) 正規従業員の平均勤続年数

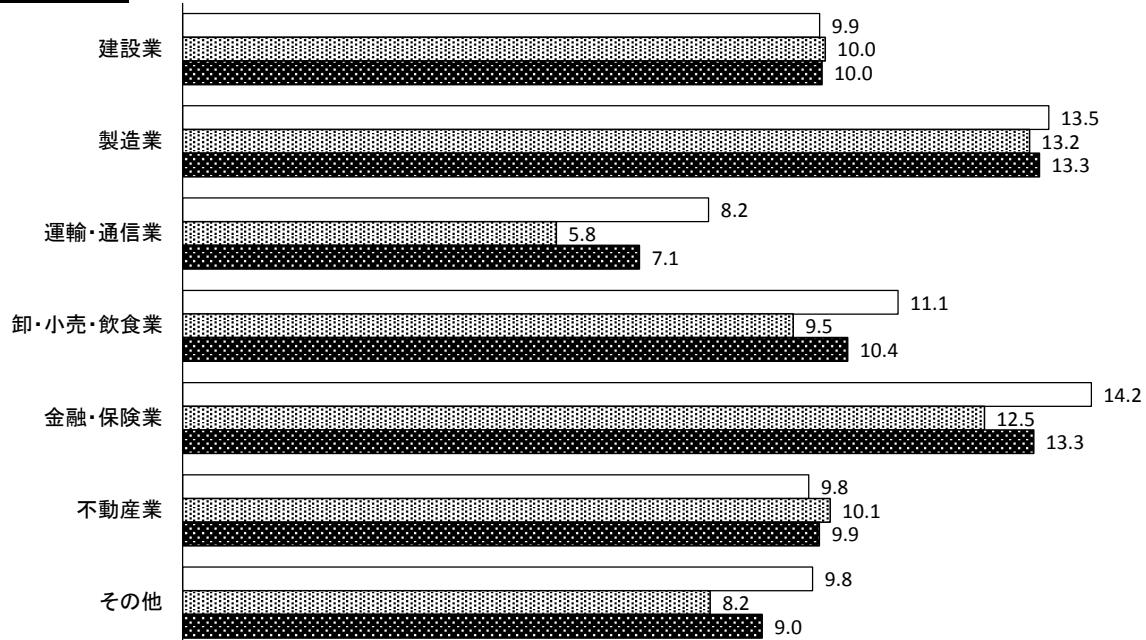
前回調査同様、男性、女性、男女合計とも平均勤続年数は10年前後で大きな変化は見られない。業種別では、「製造業」「金融・保険業」が長く、「運輸・通信業」が短い傾向となっている。

全体

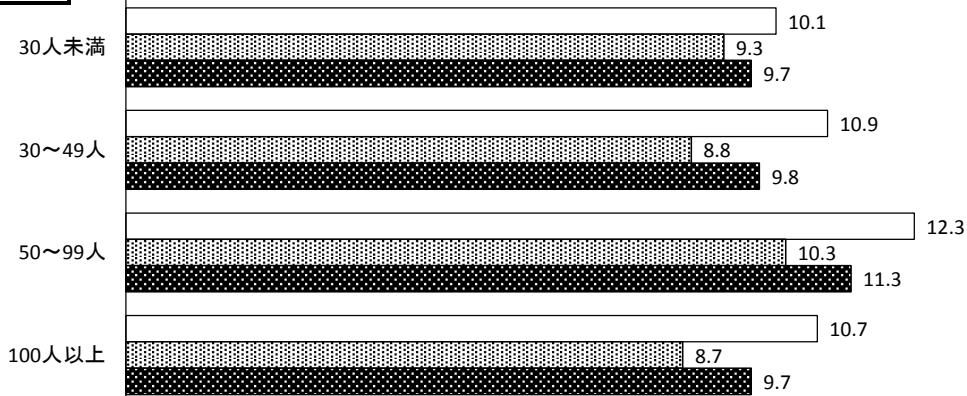
□ 男性(年)	▨ 女性(年)	■ 男女合計(年)
---------	---------	-----------



2017業種別



2017規模別



※数値は全回答(数値回答)の平均値

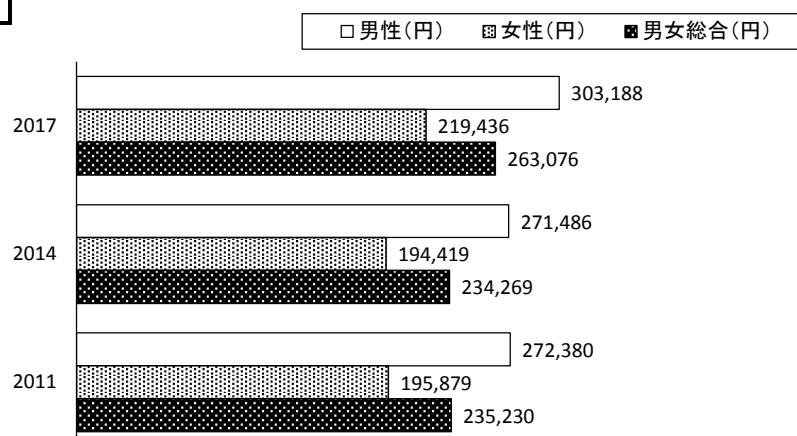
[2] 就労実態について

(3) 1か月の平均所定内賃金

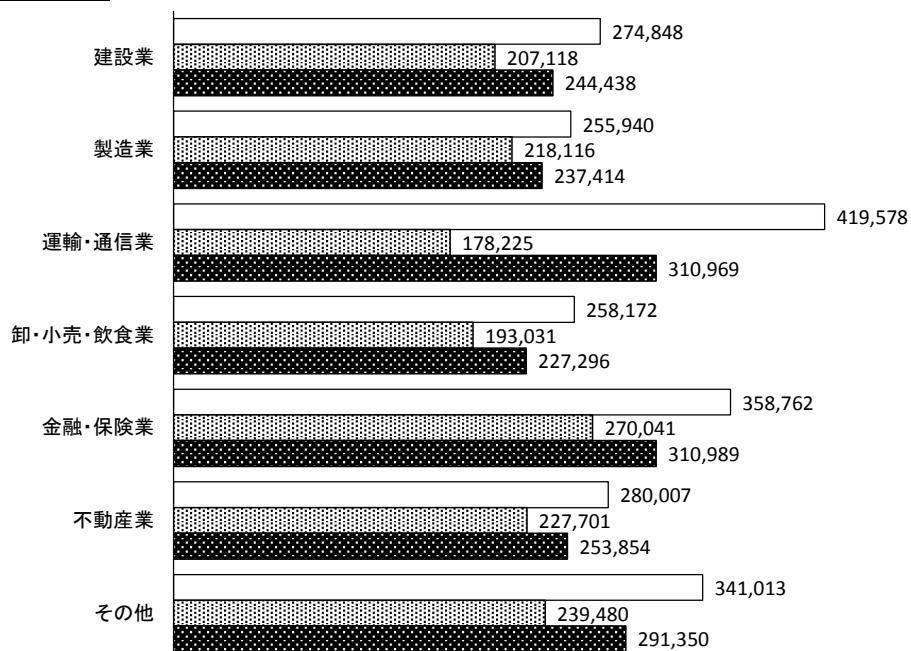
前回調査と比べ、男性、女性、男女総合とも増加傾向が見られる一方、依然として男性の賃金が女性の賃金を上回っている。

業種別で「運輸・通信業」の男性、規模別で「50～99人の事業所」の男性が最も高くなっている。

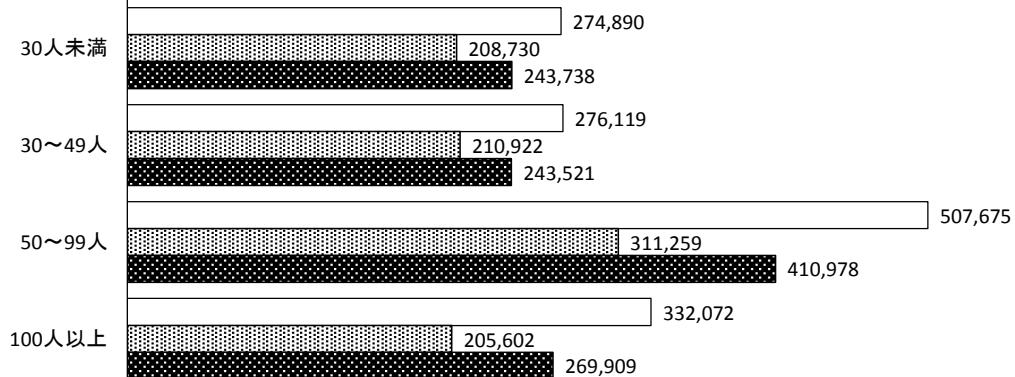
全体



2017業種別



2017規模別



※数値は全回答(数値回答)の平均値

※2011、2014は9月の数値、2017は直近1ヵ月の数値

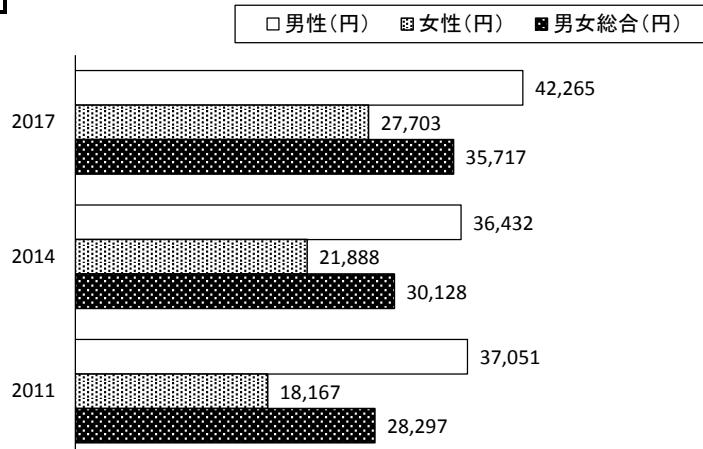
[2] 就労実態について

(4) 1か月の平均所定外賃金

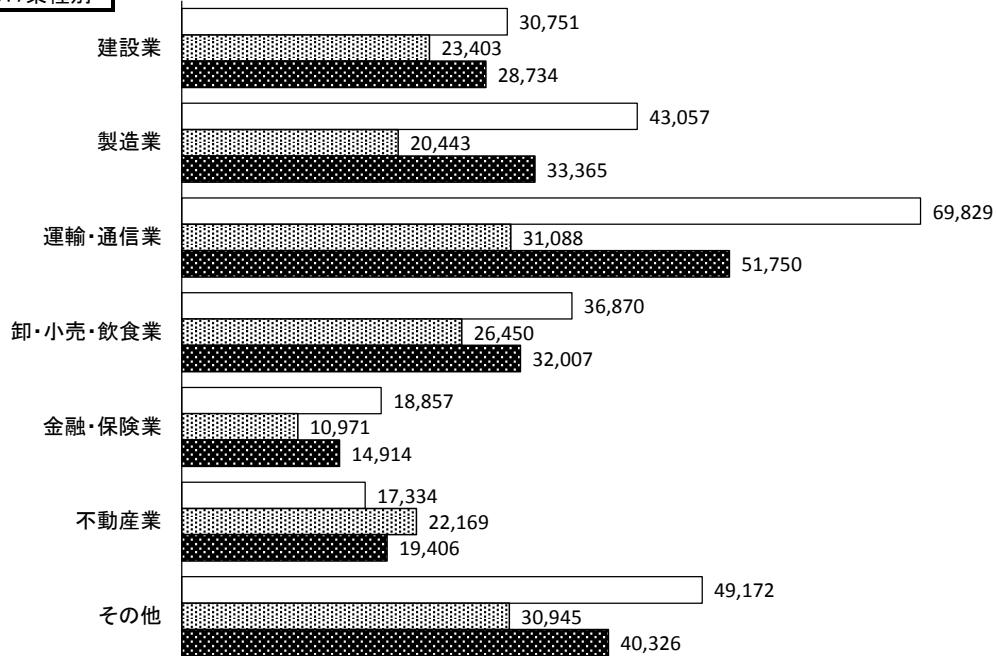
前回調査と比べ、男性、女性、男女総合とも増加傾向が見られる。

業種別では、「運輸・通信業」が高く、「金融・保険業」「不動産業」が低くなっている。規模別では、「50~99人の事業所」が高く、「30人未満の事業所」が低くなっている。

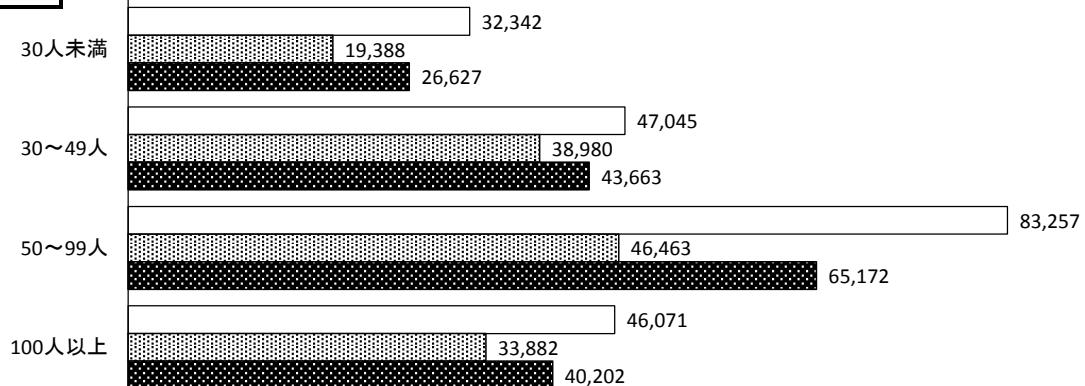
全体



2017業種別



2017規模別



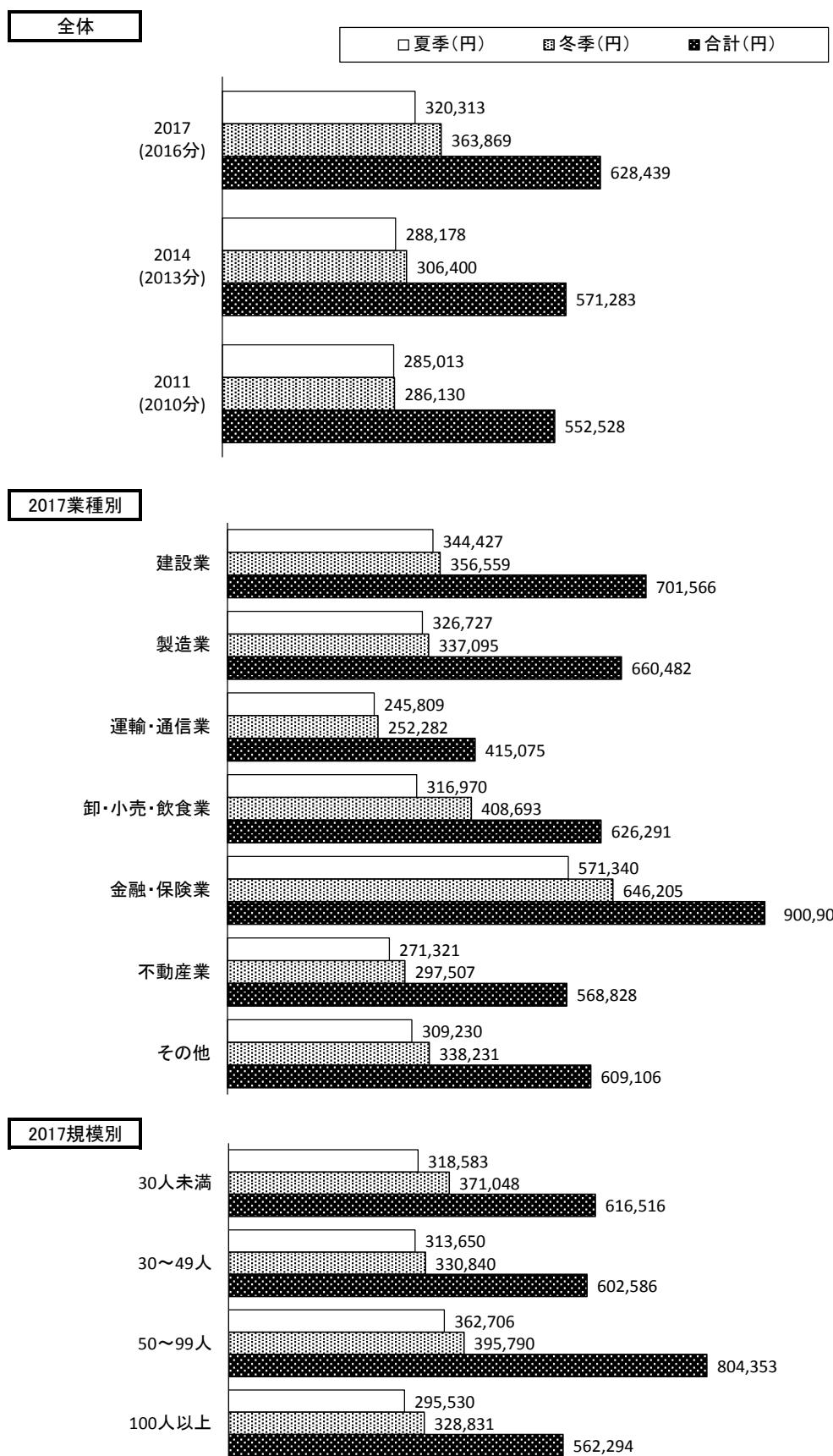
※数値は全回答(数値回答)の平均値

※2011、2014は9月の数値、2017は直近1ヵ月の数値

[2 就労実態について]

(5) 賞与

前回調査と比べ、夏季、冬季、合計ともに増加傾向が見られる。業種別では、「金融・保険業」が高く、規模別では、「50～99人の事業所」が高くなっている。

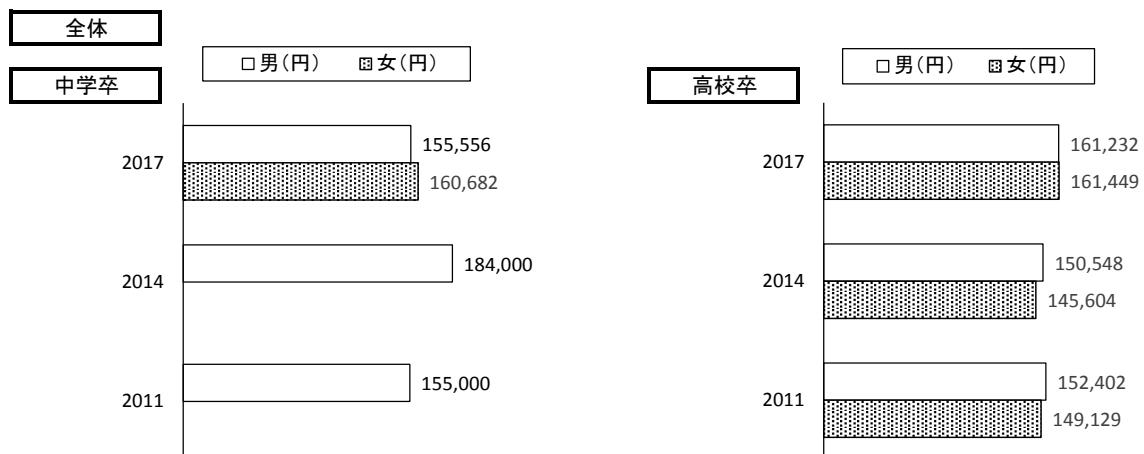


※数値は全回答(数値回答)の平均値

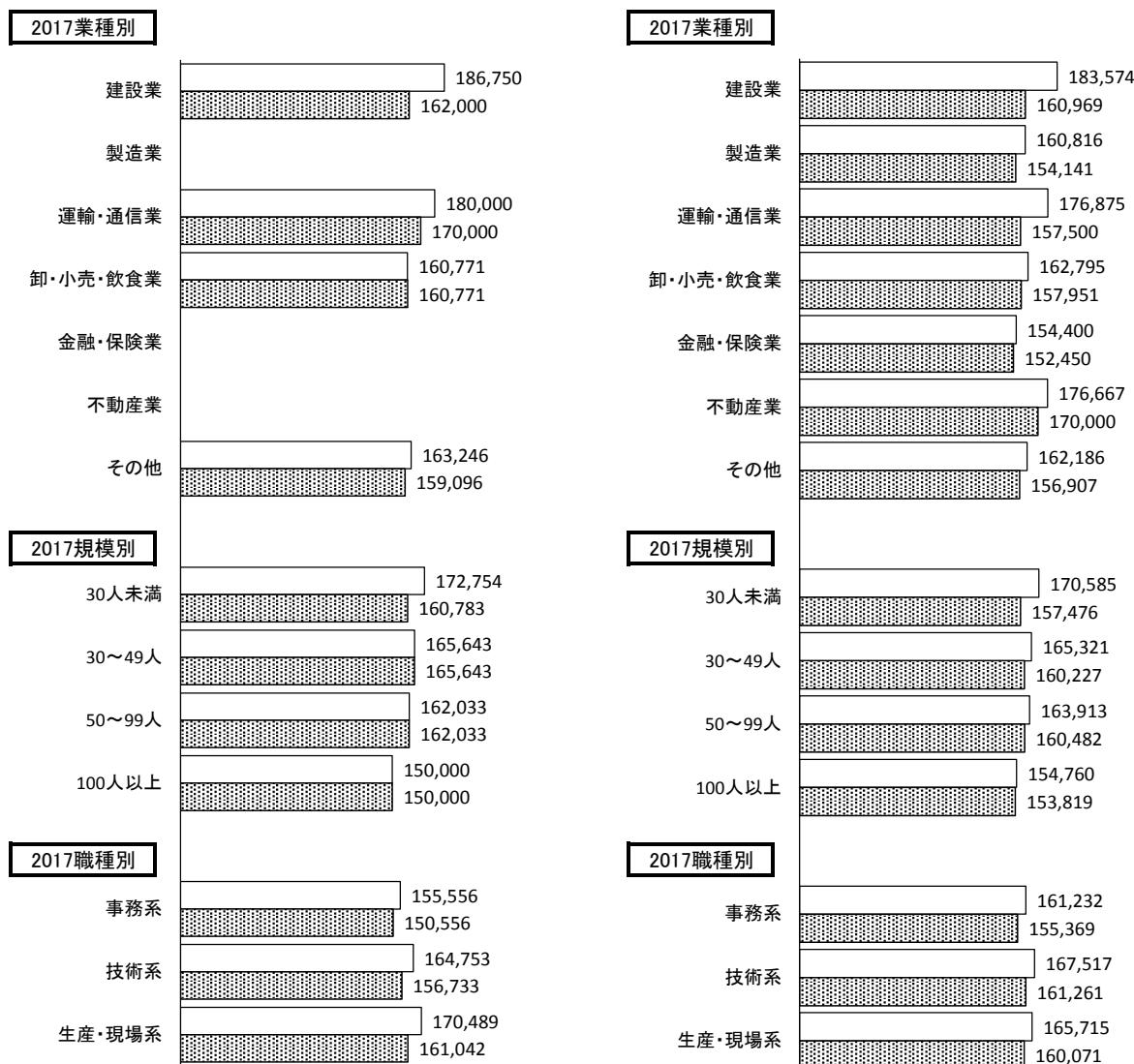
[2] 就労実態について

(6) 初任給[中学卒・高校卒]

前回調査と比べ、全般的に初任給の増加傾向が見られる。業種別では「建設業」が高く、職種別では、「事務系」より「技術系」「生産・現場系」で高くなっている。



※中学卒の2011、2014年「女(円)」回答なし

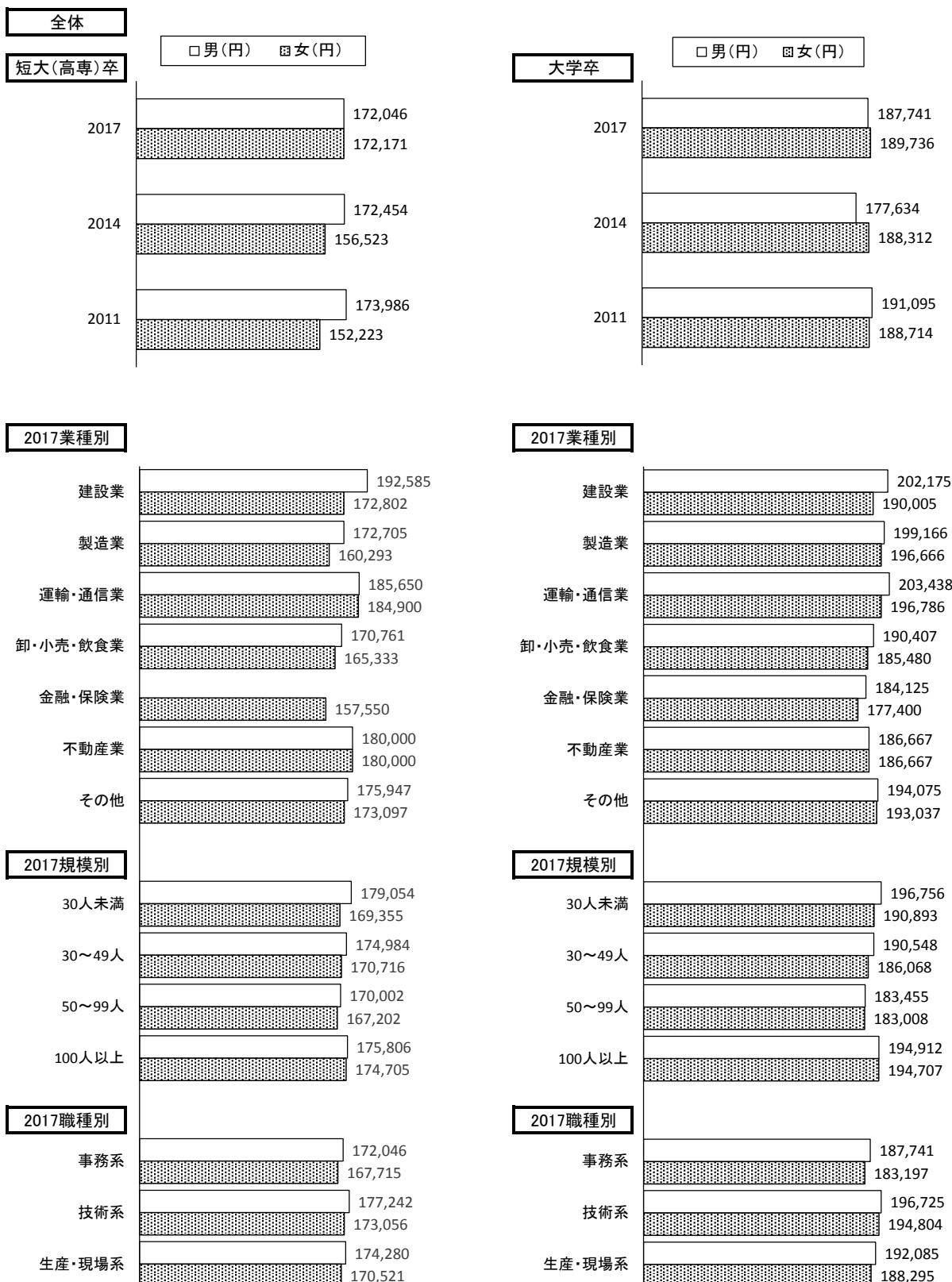


※中学卒の「製造業」、「金融・保険業」、「不動産業」回答なし
※数値は全回答(数値回答)の平均値

[2 就労実態について]

(6) 初任給[短大(高専)卒・大学卒]

前回調査と比べ、全般的に初任給の増加傾向が見られる。業種別では「建設業」が高く、職種別では、「事務系」より「技術系」「生産・現場系」で高くなっている。



※数値は全回答(数値回答)の平均値

[2] 就労実態について

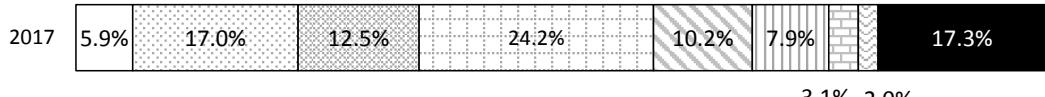
(7) 年間就労日数

総合平均では、265日以下の割合が約6割を占めている。

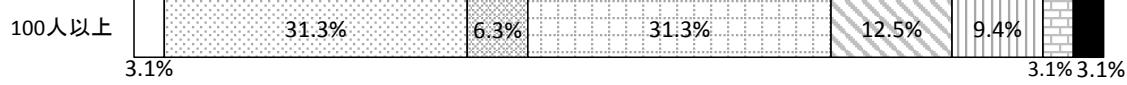
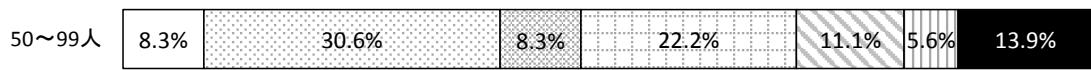
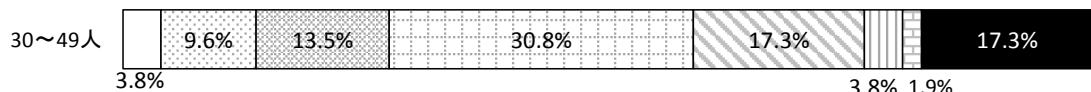
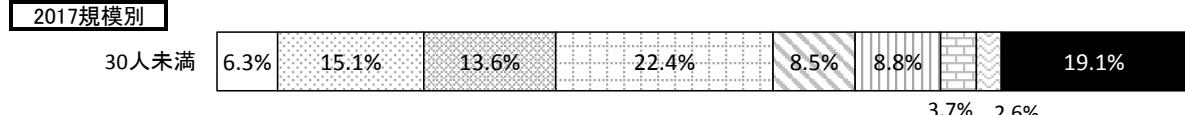
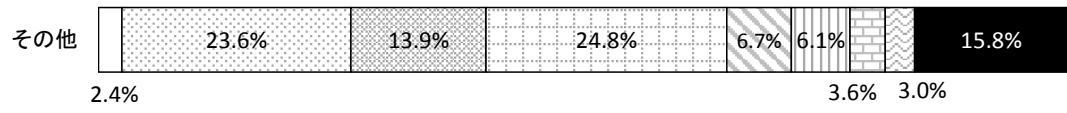
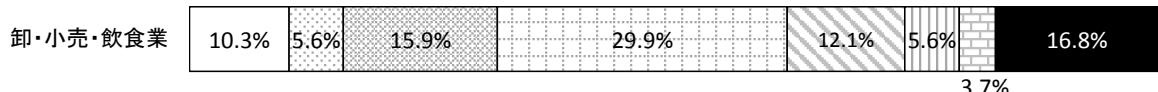
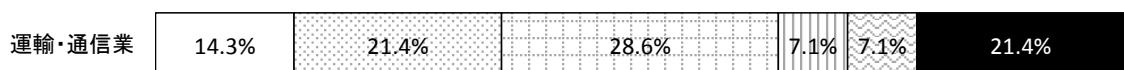
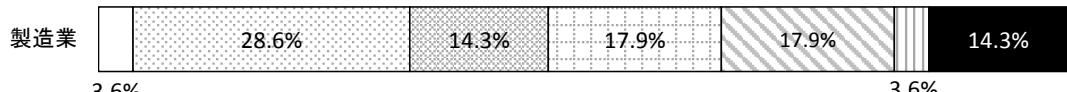
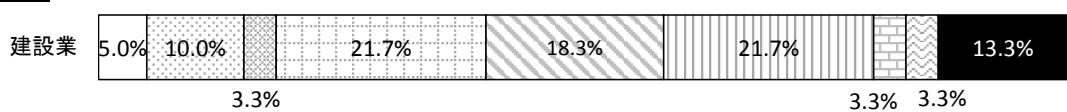
業種別では、「金融・保険業」で少なく、「建設業」で多くなっている。

総合平均

235日 以下	236～ 245日	246～ 255日	256～ 265日	266～ 275日	276～ 285日	286～ 295日	296日 以上	無回答
------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	------------	-----



2017年業種別



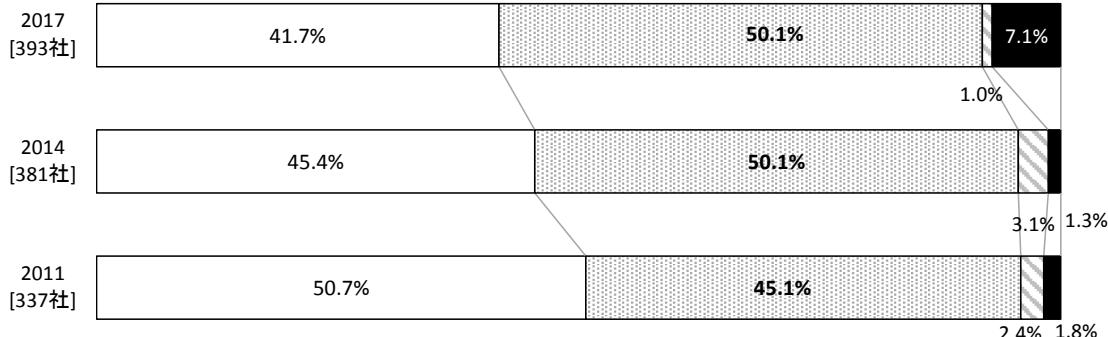
※比率はアンケート回答事業所に占める割合

[2 就労実態について]
(8) 1日の所定労働時間

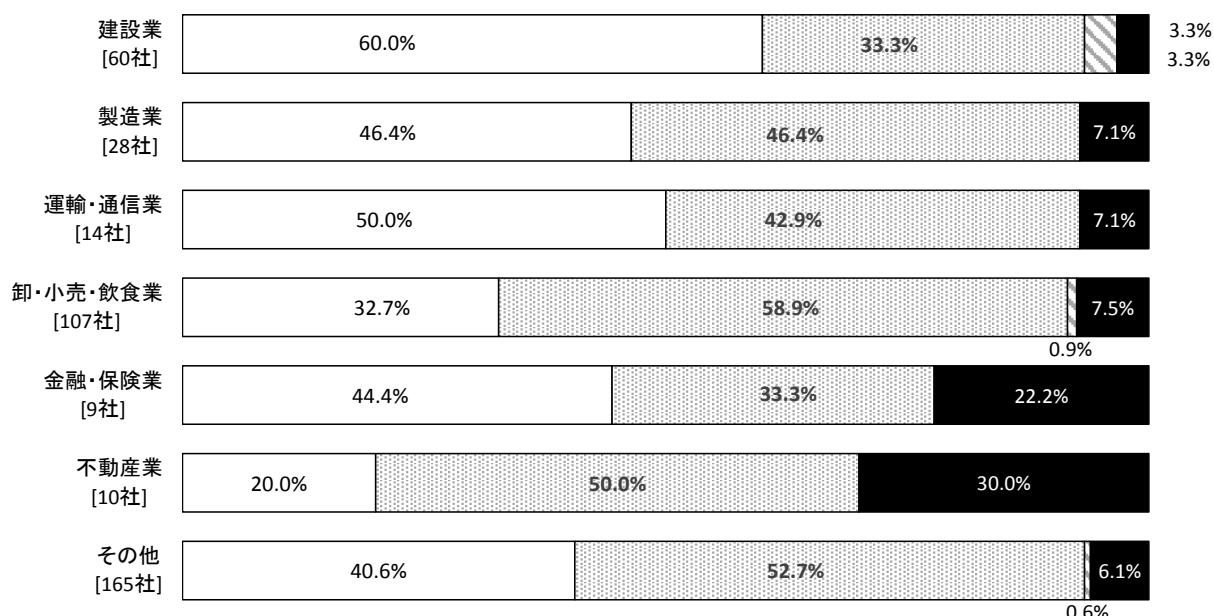
前回調査同様、1日の所定労働時間は「8~9時間未満」が多い。

業種別では、「建設業」が「8時間未満」の割合が高く、規模別では、規模が大きくなるほど「8時間未満」の割合が高くなっている。

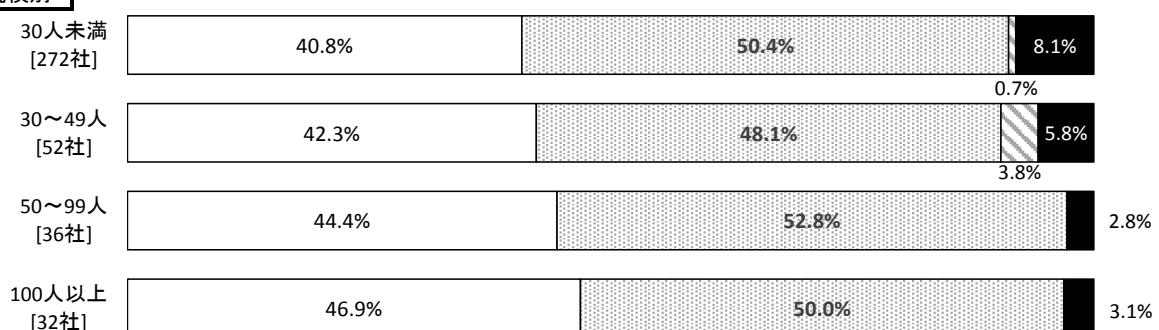
全体



2017業種別



2017規模別



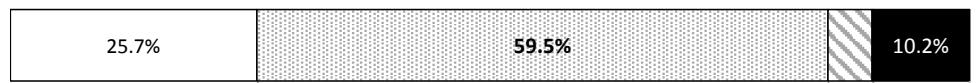
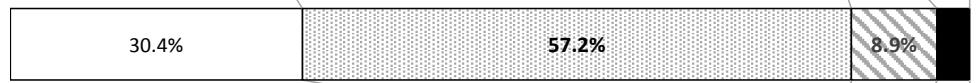
※比率はアンケート回答事業所に占める割合
※[]内の数値は2017年調査アンケート回答事業所数

[2] 就労実態について
 (9) 1週の所定労働時間

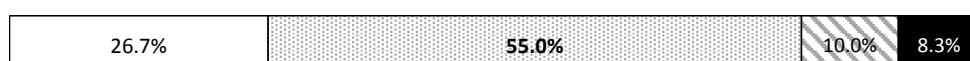
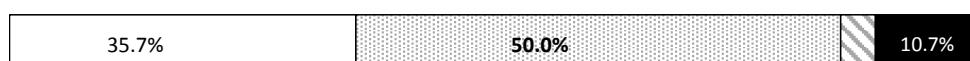
前回調査同様、1週の所定労働時間は「40～46時間未満」が多い。

業種別では、「金融・保険業」の40時間未満、「建設業」の46時間以上の割合が高くなっている。

全体

2017
[393社]2014
[381社]2011
[337社]

2017業種別

建設業
[60社]製造業
[28社]運輸・通信業
[14社]卸・小売・飲食業
[107社]金融・保険業
[9社]不動産業
[10社]その他
[165社]

2017規模別

30人未満
[272社]30～49人
[52社]50～99人
[36社]100人以上
[32社]

※比率はアンケート回答事業所に占める割合

※[]内の数値は2017年調査アンケート回答事業所数

[2 就労実態について]
 (10) 年間の所定労働時間

年間所定労働時間の総合平均は、1963時間15分。
 業種別では、「金融・保険業」が最も短く、「製造業」が最も長くなっている。

全体

総合平均 1963時間15分

2017業種別

建設業 1976時間59分

製造業 1992時間00分

運輸・通信業 1822時間09分

卸・小売・飲食業 1989時間40分

金融・保険業 1636時間09分

不動産業 1679時間36分

その他 1970時間46分

2017規模別

30人未満 1976時間59分

30～49人 1992時間00分

50～99人 1822時間09分

100人以上 1989時間40分

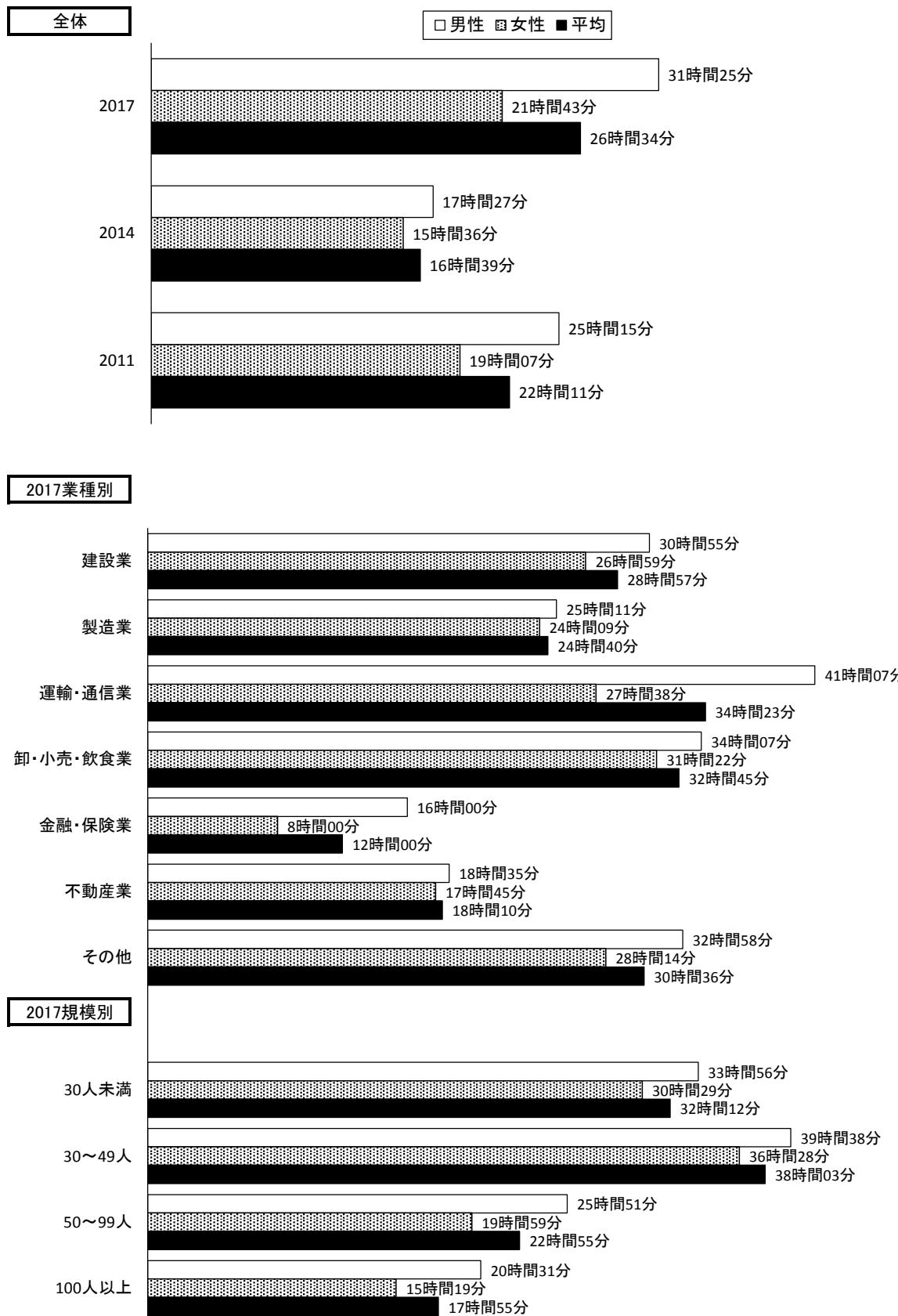
※数値は全回答(数値回答)の平均値

[2 就労実態について]

(11) 1か月の平均所定外労働時間

前回調査と比べ、全体平均で約10時間増加している。

業種別では、「運輸・通信業」で長く、規模別では、「30～49人の事業所」で長くなっている。



※数値は全回答(数値回答)の平均値

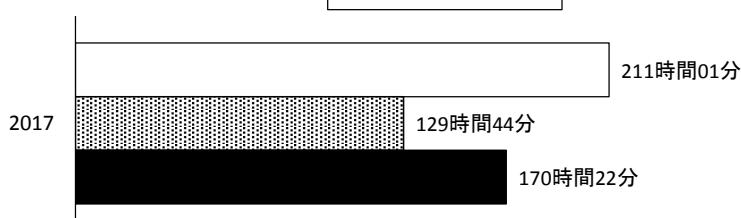
[2 就労実態について]

(12) 年間の平均所定外労働時間

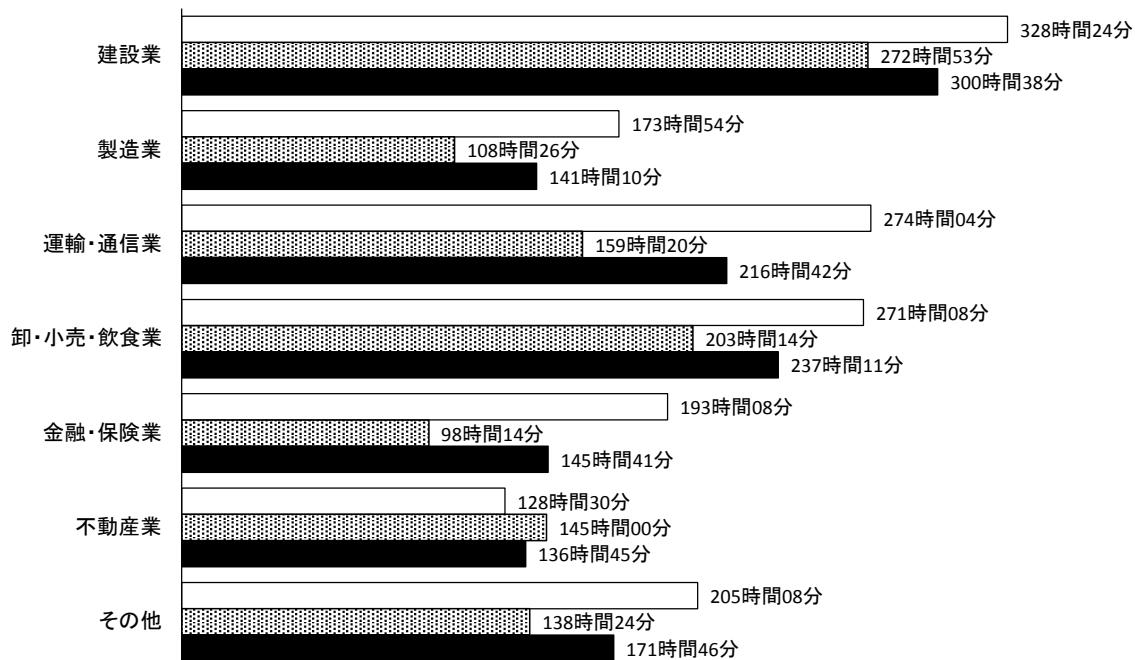
年間平均所定外労働時間の男女比は、全体で、男性が女性を約81時間上回っている。業種別では「建設業」、規模別では「30人未満の事業所」が男女共に最も長くなっている。

全体

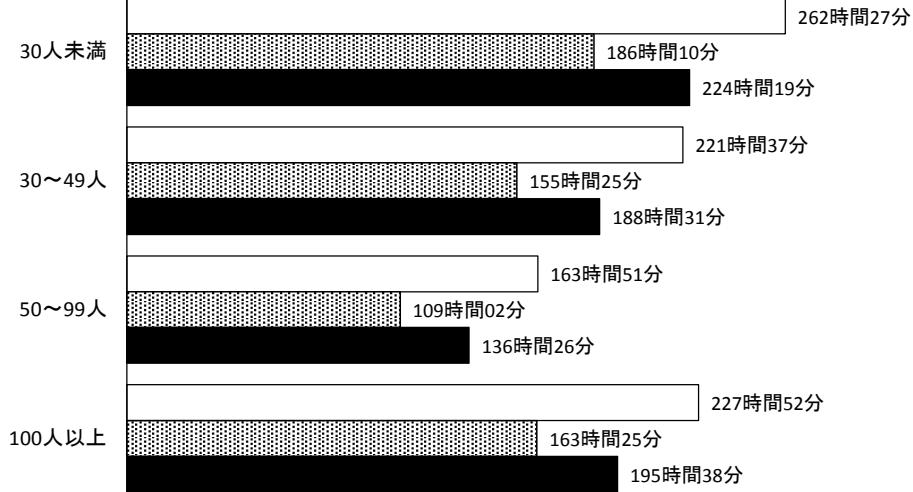
□男性 ■女性 ■平均



2017業種別



2017規模別



※数値は全回答(数値回答)の平均値